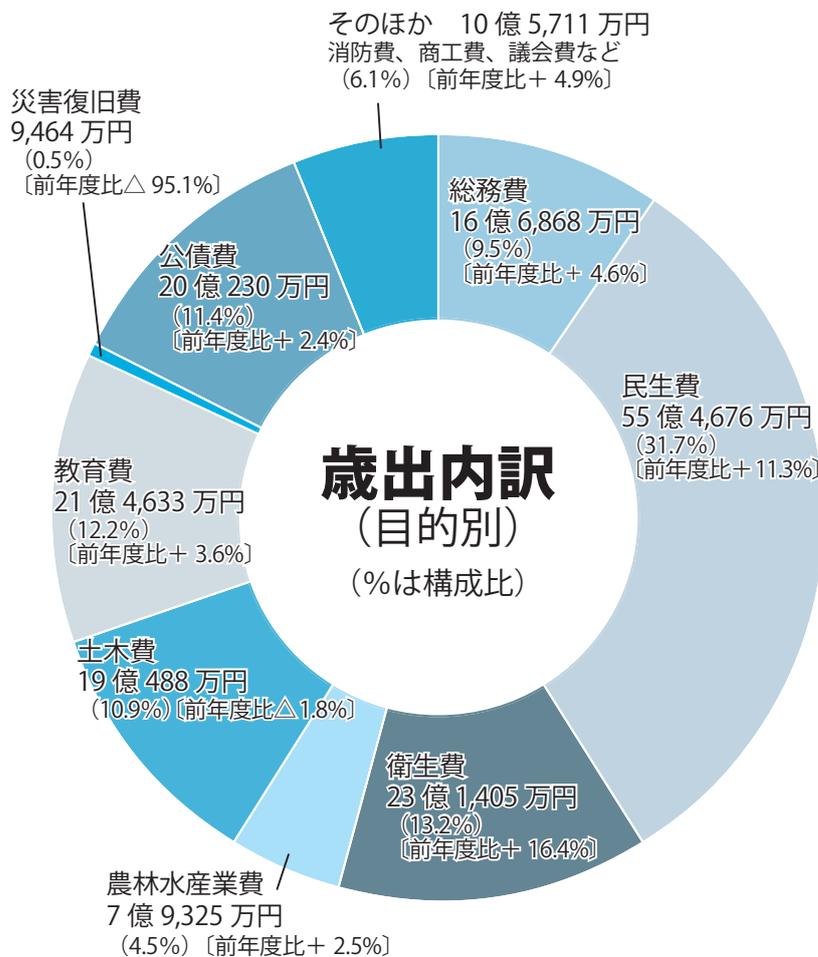


当初予算概要

- ▽通常予算 約 170 億 9,900 万円
- ▽東日本大震災関連予算 約 3 億 4,100 万円
- ▽災害関連予算 約 8,800 万円

令和 6 年度一般会計の当初予算は、令和 4 年福島県沖地震の災害復旧事業に係る家屋解体事業の完了などにより、前年度より大きく減少しています。一方、主な新規事業としては、国が実施する低所得者支援策としての給付金支給事業や、光陽クリーンセンター改修工事に伴う相馬方部衛生組合への負担金、一般廃棄物の代行処理費などの塵芥処理事業の経費などの予算を計上しています。

また、歳入としては、固定資産税、普通交付税の増額、個人住民税の減収補てんとして地方特例交付金の増額を見込んでいます。



各予算の事業の紹介で (新) となっているものは、新規事業 (令和 5 年度当初予算にない事業) になっているよ。



総務費

窓口サービスや地域のために

- (新) 自治体情報システム標準化 4,983 万円のために
- 地方バス路線維持のために 4,428 万円
- おでかけミニバス運行のために 2,173 万円
- 移住定住支援のために 1,634 万円
- (新) ふるさと納税推進のために 314 万円



ふるさと納税返礼品

民生費

社会福祉のために

- (新) 低所得者などへの臨時給付金に 1 億 1,766 万円
- (新) グループホームなどの整備に 2 億 4,241 万円
- 介護保険事業のために 5 億 8,812 万円
- 保育園の支援のために 8 億 1,497 万円
- 障がい者支援のために 10 億 8,749 万円



福祉事業所合同販売会

教育費

学校教育や文化・スポーツ振興のために

- 英語教育推進のために 2,943 万円
- 幼稚園の無償化のために 7,164 万円
- 学校給食の無料化のために 1 億 8,857 万円
- タブレット端末などを活用した教育のために 3,965 万円



タブレット端末を活用した授業

令和6年度

一般会計予算
175億2,800万円
〔前年度比△4.0%〕

衛生費

感染症予防やごみ処理のために

- (新) 光陽クリーンセンター 改修に 1億9,068万円
- (新) ごみ代行処理経費に 1億9,506万円
- 公立相馬総合病院への支援に 3億9,125万円
- 妊婦さんと子どもの健康のために 6,169万円
- がん検診のために 6,347万円



光陽クリーンセンター外観

土木費

道路・市営住宅などのために

- (新) 空き家対策のために 1,687万円
- 道路の整備に(新設・改良など) 2億5,625万円
- 下水道事業のために 6億5,908万円
- 公園維持管理のために 3,886万円

そのほか

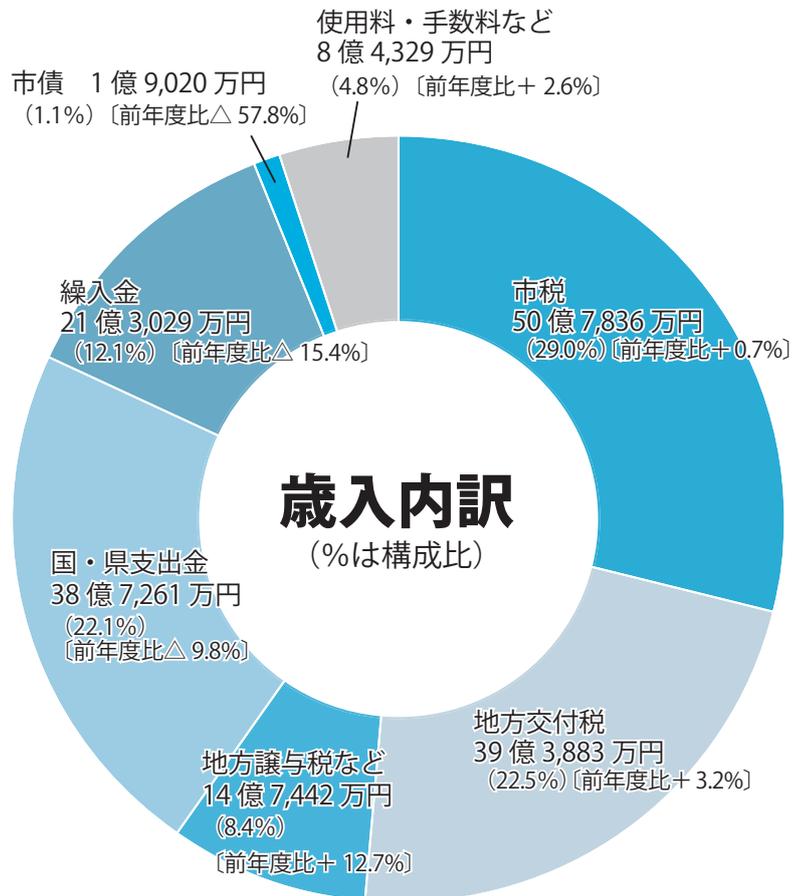
観光振興などのために (商工費、消防費、議会費など)

- (新) 消防庁舎の環境改善のために 583万円
- 消防団のポンプ整備のために 2,734万円
- 議会運営のために 1億3,845万円
- 天然トラフグ「福とら」PRのために 1,572万円



天然トラフグ「福とら」水揚げ

※特集は、次のページに続きます。



農林水産費

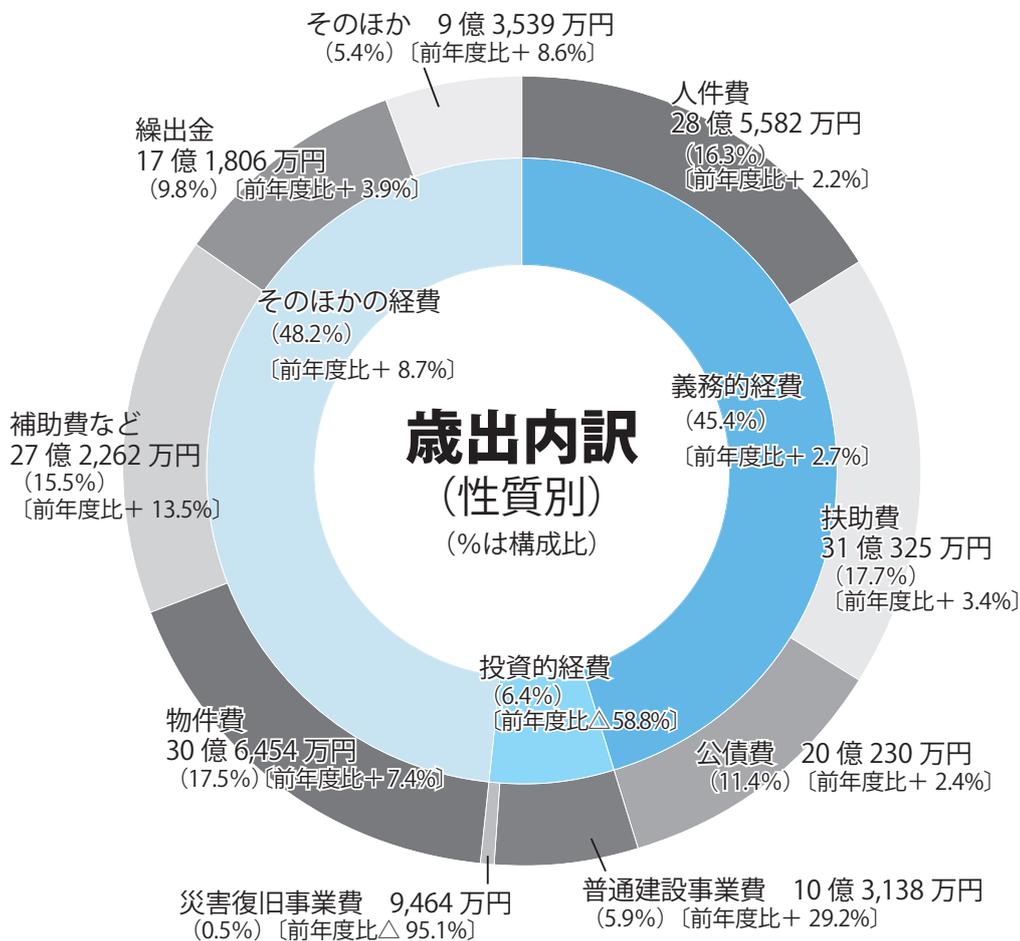
農林水産業の振興のために

- 農業者の支援のために 1億4,509万円
- 排水機場の維持管理のために 5,706万円
- イノシシなどの対策のために 1,749万円
- 浜の駅松川浦の管理運営のために 3,260万円



磯・浜・道3施設周遊イベントでにぎわう浜の駅松川浦

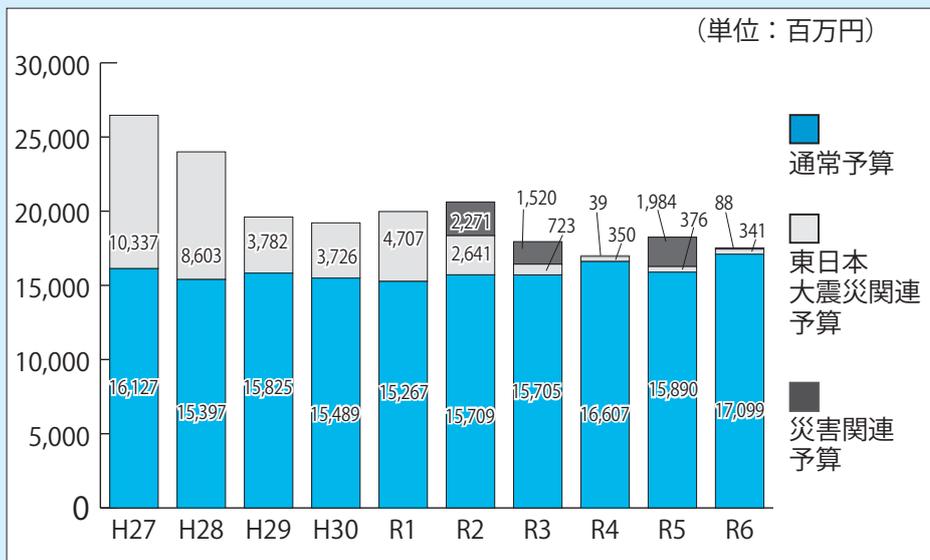
一般会計 歳出予算



性質別内訳は、令和4年福島県沖地震の災害復旧事業に係る家屋解体事業が完了したことなどにより、投資的経費が前年度比△58.8%と大幅に減額になっています。

また、国が実施する低所得者支援策としての給付金支給事業や、一般廃棄物の代行処理費などの塵芥処理事業の経費によりその他の経費が前年度比+8.7%と増額になっています。

一般会計当初予算額の推移



今年度は、令和4年福島県沖地震などの災害復旧事業関連予算が大きく減ったけれど、光陽クリーンセンター改修工事の負担金が増えていて、予算総額は約175億2,800万円、通常予算が約170億9,900万円で、前年度より増えているよ。

また、東日本大震災に関連する予算は、約3億4,100万円で、予算全体に占める割合は、約1.9%だよ。



特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計とは財布を分けて管理しています。

企業会計予算

公共下水道事業および農業集落排水事業は、令和2年度より企業会計に移行しました。これにより、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上などを図っていきます。

特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	34億9,400万円	△7.7%
後期高齢者医療	5億1,000万円	+8.1%
介護保険	37億6,398万円	△2.6%
光陽地区造成事業	11億5,612万円	+0.0%
合計	89億2,410万円	△3.8%

企業会計		予算額	前年度比
下水道事業	収益的支出	12億789万円	+1.1%
	資本的支出	6億8,131万円	+2.3%
合計		18億8,920万円	+1.5%

市の一般会計予算を 月額 40 万円（年間 480 万円）の家計に例えると・・・

市の予算と家庭では使い道が異なるため、単純な比較はできませんが、自分で稼いだ収入が少ないため、親の仕送り（国や県からの補助金）に頼ったり、貯金の取り崩しをして、対応している状況です。

	家計に例えたとき		実際の市の予算	
	内容	金額（月額）	令和6年予算額	内容
収入	給料	23万9,425円	104億9,161万円	市税・地方譲与税など・地方交付税
	パート収入	1万9,244円	8億4,329万円	そのほか収入（負担金、使用料、財産収入、寄附金、繰越金など）
	両親からの仕送り	8万8,375円	38億7,261万円	国・県からの補助金など
	貯金の取り崩し	4万8,615円	21億3,029万円	繰入金（基金積立金の取り崩しなど）
	借金	4,341円	1億9,020万円	市債
	1カ月間の収入の合計	40万円	175億2,800万円	
支出	借金の返済	4万5,694円	20億230万円	公債費（借金返済費用）
	食費	6万5,172円	28億5,582万円	人件費
	医療費・子どもの学費	7万818円	31億325万円	扶助費＝法的に義務付けられている医療や福祉に関する費用
	光熱水費	6万9,935円	30億6,454万円	物件費＝施設やサービスを維持していくために、支払い義務のある経費
	子どもへの仕送り	3万9,207円	17億1,806万円	繰出金＝他団体や特別会計の組織運営にかかる経費
	子どもの小遣い、隣組の会費、保険料・税金の支払いなど	6万2,132円	27億2,262万円	補助費＝補助金や負担金、貸付金
	家賃、家電の買い替え	2万5,696円	11億2,602万円	普通建設事業、災害復旧事業
	日用品の購入、交通費、交際費など	1万1,206円	4億9,104万円	維持補修費、貸付金、投資および出資金
	貯金	1万140円	4億4,435万円	積立金
1カ月間の支出の合計	40万円	175億2,800万円		

●問い合わせ先 財政課（☎ 37-2123）